

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		運動部屋と学習部屋と分けているため、それぞれの部屋で活動が出来る。
	2 職員の配置数は適切であるか	○		適切な人員配置で対応している。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		絵カードやイラストを用いて分かりやすくしている。特性に応じ、イラストなどが刺激になる場合は、事前に隠しておくなどの配慮をしている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日清掃を行い、清潔を心がけている。運動部屋と学習部屋が分かれているので、動と静の活動で分けることができている。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		事業所内の課題について、その都度振り返りと対策を立てて取り組んでいる。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者様から頂いたご意見を、事業所のみならず会社全体で把握、検討し、今後の業務改善やサービス向上に生かしている。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページにて公開している。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		顧問医師による評価、指導を定期的に受けている。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		社内での定期的な研修会の実施、他機関の研修会案内の共有を行っている。
適切な	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		事業所内で定期的に検討会を開き、日々の様子、園での様子、家庭での様子などを把握したうえで、アセスメントを行い、意見を出し合い計画書を作成している。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		アセスメントシートを用いて、強みや課題を明確化している。必要に応じて、質問紙法で出来る評価バッテリーを用いることがある。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		個々の特性や家庭、教育などを把握し、本人、家族のニーズやアセスメントした内容に合わせた支援項目を選択し、それぞれに対し、支援内容を設定している。
13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		計画に沿った支援を行っている。	

支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	事業所内、多職種で検討し、立案を行っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	出来たことを積み重ねて、新しい課題に挑戦するなどをして固定化しないように工夫しているが、特性に合わせて情緒の安定を図る際は、継続したプログラムを実施することもある。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	○	個別療育の教室のため、基本的に個別的な関わりで行っているが、イベントなどを開催しているため、その中で集団活動に参加できるようにしている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	打合せ時間を設け、支援内容の検討や役割分担を行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	各自振り返りを行い、記録に残すなどを行っている。その中で共有したほうがいいことについては事業所内共有を行い、日々の支援に生かしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	実績記録表への支援内容などを記録し、保護者様へ説明をしている。その他に各自の書式で記録をし、支援に繋げている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○	定期的にモニタリングを行い、成長に合わせ見直し、修正をしている。
	関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	市や町の子ども支援の担当者と連絡を取っており、必要時は担当者会議等に参画していただき連携に努めている。
23		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○	相談支援専門員を通して、関係機関と連携し、統一した支援を行っている。
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	担当者会議の際、協力医療機関との情報交換を行い、連絡体制を整えている。
25		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	利用開始時などは担当者会議に出席し、園での様子を共有している。また、園へ訪問し園での様子を直接見学することや事業所での支援内容を保育者へ伝達することで相互理解を図っている。
26		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	就学時は担当者会議を開催し、関係機関の顔合わせも兼ねて顔の見える関係性を築いている。そこで今までの事業所での様子や園での様子などを小学校と共有している。
27		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	他の事業所と併用している際は、他の機関と連携し、支援に生かしている。また、療育センターなどの専門機関が主催する研修会に参加している。
28		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○	他事業所との交流はないが、今後イベントなどで交流の機会をもちたい。
29		(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	会議が開催されたら参加し、事業所の紹介やサービス提供についての情報などを伝達している。
30		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	療育見学時や送迎で来所された際に情報交換を行っている。定期的に面談の機会を持たせていただき、課題について共通理解を図っている。

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○	事業所ごとに茶話会を開催し、保護者同士での情報交換の場やペアレントメンターによる相談の場としている。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	契約時に説明を行っている。年度ごとに独自のしおりを作成し、説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	事業所内で支援方針、支援内容を検討し、児童発達支援計画を作成している。それを提示して保護者様に説明をしている。説明時、追加で要望があった際は修正、変更もしている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	療育見学時にお話を伺うことや定期的に面談を設定し相談できる機会を設けている。それ以外に保護者様より面談の要望があった際には、その都度面談の日程を設けている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	保護者会として茶話会を開催し、保護者様同士の情報交換ができる機会を設けている。利用者様の保護者様が主催している会などのポスターを事業所に掲示し保護者様同士が繋がる場所を紹介している。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	利用者様、保護者様からの相談があった場合は、速やかに社内でも検討し、必要に応じて他の利用者様や保護者様へ周知している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	月に1度、会報を発行し活動内容や情報提供などを発信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	個人情報の取り扱いについては、十分注意をしている。個人情報保護についての研修会も社内で行っている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	利用者様の特性に合わせて、意思疎通や情報伝達に配慮している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	外部の見学を積極的に受け入れ、弊社の理念や事業運営について理解していただけるよう努めている。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	定期的に避難訓練を行っている。避難経路も掲示に、すぐに確認できるようにしている。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	年度ごとに個人調査票の記載を依頼し、状況を確認している。また、変化などがあった際は情報をいただくようにしている。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	アレルギーについての情報はいただいているが、個別療育のため食事提供は行っていない。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	事業所内で起きたヒヤリハットを記載し、事業所内で検討、その都度改善策を検討している。事業所内だけに留めずに社内でも共有し、事故防止に努めている。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	虐待防止の職員研修会を毎年開催している。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	利用者様の中に身体拘束に該当する児童はいないが、本人の安全や生命を守るためやむを得ず行う場合は十分に説明を行うようにする。